

令和4年度 入退院調整ルールづくり支援事業 入退院調整状況調査結果報告

【目的】

南和地域では、病院から在宅へのシームレスな移行に向けて、介護の必要な方が安心して入退院と在宅療養ができる環境づくりの一環として、平成31年2月に「入退院調整マニュアル」を作成し、入退院連携ルールの運用が開始された。

本調査は、南和地域のケアマネジャーから入退院調整ルールの活用状況について調査を行い、入退院時の医療と介護の連携について、その効果と課題を把握することを目的に実施する。

【概要】

○方法

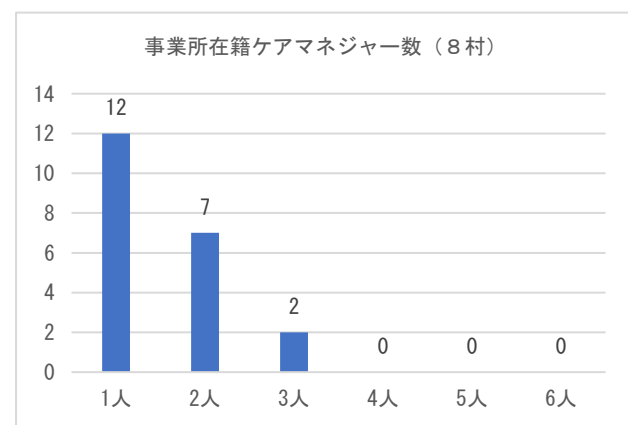
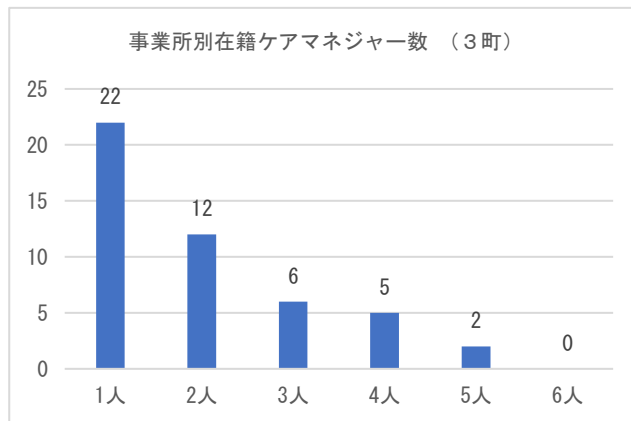
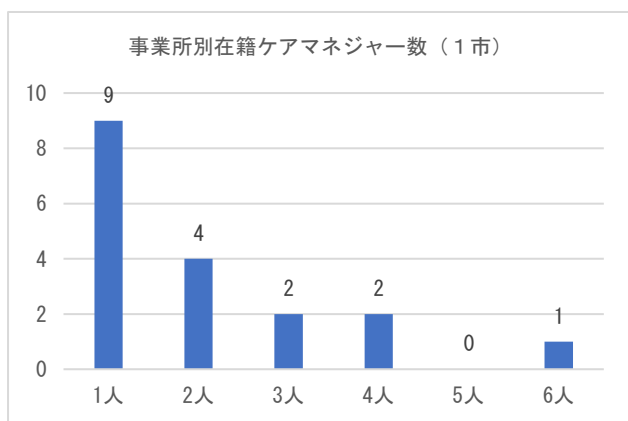
南和地域の事業所（ケアマネジャー）に調査票（別紙）を用い、担当するケースのうち、令和4年6月1日～6月30日の1カ月間に病院から退院したケースの退院調整の連絡状況と、入院したケースに関する入院時情報提供書の提出等についてアンケート調査を実施する。

項目	内容
調査期間	令和4年6月1日～6月30日
調査回収期間	令和4年7月1日～7月8日
対象地域・事業所	南和地域12市町村 [五條市、大淀町、吉野町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村] 居宅介護支援事業所：40ヶ所 地域包括支援センター：12ヶ所 計52ヶ所
調査票回答者	対象事業所のケアマネジャー
回答事業所数(回収率)	居宅介護支援事業所：40ヶ所(100%) 地域包括支援センター：12ヶ所(100%) 計52ヶ所
ケアマネジャー回答者数	居宅介護支援事業所：79人 地域包括支援センター：26人 計105人

【結果】

市町村	各事業所のケアマネジャー数	1. 現在の担当ケース				2. 退院したケース				3-1. 入院したケース			
		ケース数(計)	内訳			ケース数(計)	内訳			ケース数(計)	内訳		
			要介護件数	合事業対象者件数	要支援・総		その他件数	要介護件数	合事業対象者件数		要支援・総	その他件数	要介護件数
五條市	37	1428	949	466	13	34	28	4	2	28	26	2	0
吉野町	15	391	289	102	0	12	12	0	0	14	13	1	0
大淀町	21	679	416	253	10	18	11	5	2	20	18	2	0
下市町	11	270	161	96	1	3	3	0	0	6	5	1	0
黒滝村	2	35	34	1	0	4	4	0	0	3	3	0	0
天川村	3	52	47	5	0	3	3	0	0	2	2	0	0
野迫川村	1	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十津川村	5	187	70	94	23	1	1	0	0	4	1	2	1
下北山村	2	30	20	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0
上北山村	1	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川上村	2	50	20	30	0	1	1	0	0	3	3	0	0
東吉野町	5	72	25	47	0	3	1	2	0	4	3	1	0
合計	105	3204	2031	1106	55	79	64	11	4	84	74	9	1

※その他：介護保険申請中、未認定等



対象事業所は居宅介護支援事業所 40 ヶ所、地域包括支援センター12 ヶ所で、ケアマネジャー回答者数は居宅介護支援事業所 79 人、地域包括支援センター26 人であった。対象地域全域に地域包括支援センターは設置されていたが、居宅介護事業所を有しない地域が 2 ヶ所あった。事業所別の在籍ケアマネジャー人数を 1 市 3 町 8 村ごとに見てみると、1 人 2 人の割合が多く、そのうち 1 市 3 町は全体の 7 割を占めているのに対し、8 村は全体の 9 割を占めていた。また一人当たりの受持ち人数は、1 市 39 名、3 町 29 名、8 村 21 名であった。

【退院調整の状況】

●退院したケースの病院別件数(1市)

	件数	連絡あり	連絡なし
南奈良総合医療センター	13	11	3
五條病院	12	11	1
吉野病院	0	0	0
南和病院	0	0	0
県内病院	3	1	2
県外病院	6	3	3
合計(割合)	34	26(76%)	8(24%)

＜その他県内病院の内訳(抜粋)＞

	件数	連絡あり	連絡なし
奈良県立医科大学附属病院	1	0	1
天理よろず病院	1	0	1
不明	1	1	0

＜その他県外病院の内訳(抜粋)＞

	件数	連絡あり	連絡なし
橋本市民病院	2	2	0
紀和病院	4	1	3

●退院したケースの病院別件数(3町)

	件数	連絡あり	連絡なし
南奈良総合医療センター	19	15	4
五條病院	1	1	0
吉野病院	4	3	1
南和病院	1	1	0
県内病院	8	5	3
県外病院	0	0	0
合計(割合)	33	25(76%)	8(24%)

＜その他県内病院の内訳(抜粋)＞	連絡あり	連絡なし
奈良県立医科大学附属病院	1	1
秋津鴻池病院	1	0
大和橿原病院	2	1
済生会中和病院	2	0
天理よろず病院	1	1
大和高田市立病院	1	0

●退院したケースの病院別件数(8村)

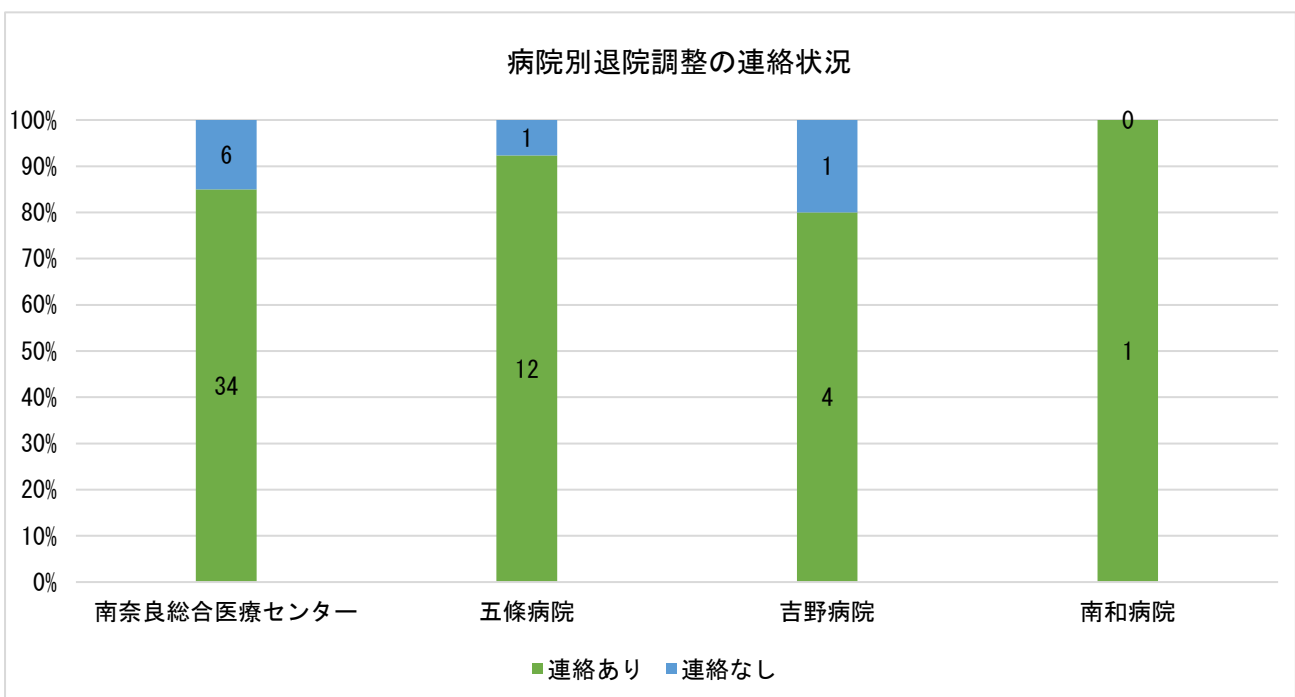
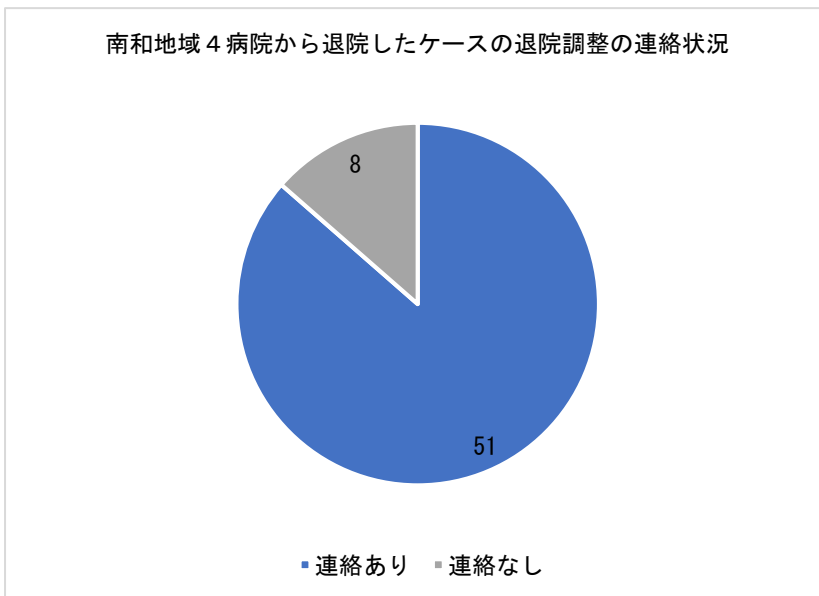
	件数	連絡あり	連絡なし
南奈良総合医療センター	8	8	0
五條病院	0	0	0
吉野病院	1	1	0
南和病院	0	0	0
県内病院	4	4	0
県外病院	0	0	0
合計(割合)	13	13(100%)	0(0%)

＜その他県内病院の内訳(抜粋)＞

	件数	連絡あり	連絡なし
済生会中和病院	1	1	0
天理よろず相談所病院	1	1	0
宇陀市立病院	1	1	0
不明	1		

連絡があった医療機関(南和地域)は、1市26(76%)、3町25(76%)、8村13(100%)であった。そのうち連絡があった南和地域以外の県内医療機関は9件(60%)であった。県外の医療機関からの件数は6件で連絡ありが3件(50%)であった。

●南和地域 4 病院から退院したケースの退院調整の連絡状況



南和地域 4 病院から退院したケースの連絡状況は、「連絡あり」が 51 件 (85%) で、病院別に見てみると南奈良総合医療センターから連絡があったケースは 34 件 (83%)、五條病院 12 件 (92%)、吉野病院 4 件 (80%)、南和病院 1 件 (100%) であった。

●退院したケースの認定区分件数

	1市	3町	8村	合計
総合事業対象者	0	0	0	0 (0%)
要支援1	1	1	1	3 (4%)
要支援2	3	4	1	8 (10%)
要介護1	9	2	1	12 (15%)
要介護2	5	6	6	17 (22%)
要介護3	5	9	0	14 (18%)
要介護4	4	7	2	13 (17%)
要介護5	3	1	0	4 (5%)
その他	4	3	0	7 (9%)
合計	34 (44%)	33 (42%)	11 (14%)	79 (100%)

退院したケースの認定区分で最も多い対象者は、1市では要介護1(9名)、3町は要介護3(9名)、8村では要介護2(6名)となっている。
 全体では要介護2が最も多く23%となっており、要介護1~4の間に集中している。
 総合事業対象者や要支援、要介護5の割合は低くなっている。

●病院からの連絡時期

	1市			3町			8村			合計
	要介護	要支援・事業対象者	その他	要介護	要支援・事業対象者	その他	要介護	要支援・事業対象者	その他	
退院当日				1				1	2	4
1日前	2			3			2			7
2日前	3			4			3			10
3日前	5			4				1		10
4日前	1						1			2
5日前	1					1	2			4
6日前				1						1
7日前	4			1	1		2			8
8日前						1				1
9日前	1			1						2
10日前	1		1	2						4
11日前				1						1
12日前		1								1
14日前	1	1		2			1			5
20日前	1					1				2
29日前	1									1
30日前				1						1
合計	21	2	1	21	1	3	11	2	2	64

病院からの連絡時期は、1週間以内が38件59%と最も多く、そのうち退院1日前から3日前が27件と全体の42%を占めており、1週間から2週間以内の間では17件27%、2週間前では9件14%となっている。

他圏域で運用されている「退院5日以上前」は23件(35%)であった。

●退院調整に問題があった場合の理由

市町村	病院名	連絡の有無	時期	理由	対象者区分
吉野町	天理よろづ相談所病院	無		病院と本人・家族との意見に相違があった	要介護2
吉野町	吉野病院	有	14	看護サマリー等の患者に関する情報提供がない	要介護3
下市町	大和橿原病院	有	5	病院と本人・家族との意見に相違があった	要介護3
東吉野村	済生会中和病院	有	5	病院と本人・家族との意見に相違があった	要介護2

退院調整に問題があったケースは4件で、そのうち南和地域の医療機関は1件で県内医療機関は3件であった。連絡は有りが3件、無しが2件で、連絡時期は5日から2週間とさまざまである。理由は「病院と本人・家族との意見に相違があった」が最も多かった。

【入院調整の状況】

事業所名	ケース数(計)	入院後3日以内			入院後7日以内			入院後8日以上			提出できなかったケース	
		内訳			内訳			内訳				
		要介護件数	合事業対象者件数	要支援・総	その他件数	要介護件数	合事業対象者件数	要支援・総	その他件数	要介護件数		合事業対象者件数
五條市	28	19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
吉野町	14	10	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0
大淀町	20	18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下市町	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒滝村	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天川村	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
野迫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十津川村	4	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
下北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川上村	3	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
東吉野町	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	84	60	9	1	3	0	0	1	0	0	10	

入院後ケアマネジャーから医療機関への連絡状況は全体で84件あり、そのうち10件が入院時情報提供書を提出できなかったと回答している。提出したケースで最も多かったのが入院後3日以内の70件(95%)で、要介護件数が60件(81%)と最も多かった。

●病院へ提出できなかったケース(1市)

a. 入院の連絡が無かったため	4
b. 短期(検査等)入院のため	1
c. 再入院(複数回入院)で不要と判断したため	1
d. 電話で情報提供したため	0
e. 南和ルール以外の病院へ入院したため	1
f. その他	1

＜その他の内訳(抜粋)＞

準備をしている間に退院が決まった	1
------------------	---

●病院へ提出できなかったケース→3町なし

●病院へ提出できなかったケース(8村)

a. 入院の連絡が無かったため	0
b. 短期(検査等)入院のため	0
c. 再入院(複数回入院)で不要と判断したため	0
d. 電話で情報提供したため	2
e. 南和ルール以外の病院へ入院したため	0
f. その他	0

入院後ケアマネジャーから医療機関へ提出できなかったケースを1市3町8村別で見ると、1市は8件でそのうち「入院の連絡がなかったため」の4件が最も多かった。3町は全て提出できており、8村は2件提出できなかったケースがあったが、理由は「電話で情報提供したため」であった。

【連携で良かった点】

	良いと感じた		感じなかった		無回答	
五條市	30	81%	7	19%	0	0%
吉野町	9	60%	6	40%	0	0%
大淀町	11	52%	10	48%	0	0%
下市町	8	73%	0	0%	3	27%
黒滝村	2	100%	0	0%	0	0%
天川村	1	33%	0	0%	2	67%
野迫川村	0	0%	1	100%	0	0%
十津川村	3	60%	2	40%	0	0%
下北山村	0	0%	2	100%	0	0%
上北山村	0	0%	0	0%	1	100%
川上村	2	100%	0	0%	0	0%
東吉野町	4	80%	0	0%	1	20%
合計	70	67%	28	27%	7	7%

入退院連携で良かったと回答したケアマネジャーは70名で全体の67%であった。
良かったと感じなかったケアマネジャーは28名(27%)で、無回答が7名(7%)であった。
1市3町8村別で見ると、1市で良いと回答したケアマネジャーは31件(81%)、3町では28件(60%)、8村では12件(57%)であった。

●良いと感じた意見

[1 市]

①連絡に関すること(9 件/37 件)

- ・入院・転院の連絡をタイムリーにいただけるので状態把握がしやすくなり、退院に向けた調整の計画が立てやすくなった
- ・家族が連絡を忘れていても入退院したことがわかるので次の調整がスムーズにできるようになりました
- ・状況把握がしやすくなった。個人情報なのでと断られなくなった

②患者の状態理解に関すること(11 件/37 件)

- ・リハビリの継続性、住民環境のアプローチがスムーズに行えること
- ・退院前に環境整備ができたこと
- ・退院直後にサービスを開始できる

③連携・情報共有に関すること(11 件/37 件)

- ・退院後の調整が必要なときは地域連携室と連携がとれること
- ・医療と連携がとれ情報共有ができてよい
- ・病院側とケースのサービス調整がスムーズにできた。病院側と顔の見える関係ができた

④その他(2 件/37 件)

- ・病棟に伝えるのか、連携室に伝えるのか、振り分けられることがあり、病棟はこんな内容・連携室はこんな内容と分かりやすくしていただきたらありがたいです
- ・いつも丁寧に優しく対応下さっています

[3 町]

①連絡に関すること(14 件/28 件)

- ・入院したことが家族から連絡がなかった時分かる。転院したら知らせてくれる
- ・南和医療圏域の病院については、入退院の連絡がほぼ入る状況になった

②患者の状態理解に関すること(5 件/28 件)

- ・病状や状態の変化が事前にわかり、退院後のサービス調整がしやすくなった
- ・事前に退院日やご本人様の現在の状況がわかるため、退院後のサービス調整がしやすい。本人に会えることは少ないが、疑問に思うことを質問すれば返してくれるのでありがたかった

③連携・情報共有に関すること(7 件/28 件)

- ・退院日時を早く知る事ができ、退院後のサービス調整の準備がスムーズにできて助かりました
- ・急な退院がほとんどなく、退院調整を行うことが出来た
- ・自宅に戻る場合は、福祉用具等必要なものを本人の状態に合わせて準備ができるため、スムーズに在宅生活に戻ることができる。退院前カンファレンスにより、家族や本人の意向確認ができ、専門職からのアドバイスも受けることができる。

④その他(2 件/28 件)

- ・以前は連絡シートを持参しても都度説明させて頂いていたが、大半の方がご理解頂き受け取ってくださる様になった
- ・退院時カンファレンスをしてもらえるのはありがたいが、「このサービスを調整してください」とサービスの指定をしたり、近隣にないようなサービスの調整を依頼されるのは困る。サービスの導入についてはケアマネに任せてほしい

[8村]

①連絡に関すること(1件/13件)

- ・退院時の心身の状況や退院日がとてもわかりやすかった
- ・入院時情報提供書に書き切れなかった事も、電話連絡をいただいた際にお伝えすることができた

②患者の状態理解に関すること(3件/13件)

- ・状態が理解でき、退院までに環境整備などの調整ができた

③連携・情報共有に関すること(9件/13件)

- ・南和地域以外の病院に入院した患者さんにもこの様式を使用しました。入院後、即日記入して、早期に届けることが出来た
- ・入院時点で入院時情報提供書を送ることで、対象者のそれまでの生活状況や介護サービス利用状況等の情報共有ができ、退院に向けての支援に活かしてもらう事ができる
- ・入院時情報提供をさせて頂くと、退院時に看護サマリーやリハビリサマリーが頂け、在宅に戻った際の介護サービス提供時に役に立った。また、事前に電話連絡等により情報が頂け、在宅に戻られるのか、施設を利用されるのか、在宅でケアマネが持っている情報をお渡しすることにより、スムーズに話が進み、家族も納得した上で退院できた
- ・シートを見ながら連携室担当者と調整の話ができた

④その他(1件複数該当しているためその他部分を抜粋)

- ・病院の側ではどのように受け止めておられるのか、お聞きしたいです

【実施状況の経過】

	平成30年6月	令和元年6月	令和2年6月	令和3年6月	令和4年6月
病院からの 退院調整の連絡状況	39件	51件	51件	48件	51件
	59%	84%	85%	91%	85%
ケアマネジャーから病院への 入院時情報提供書の提出	72件	72件	71件	75件	74件
	72%	87%	71%	85%	83%

